

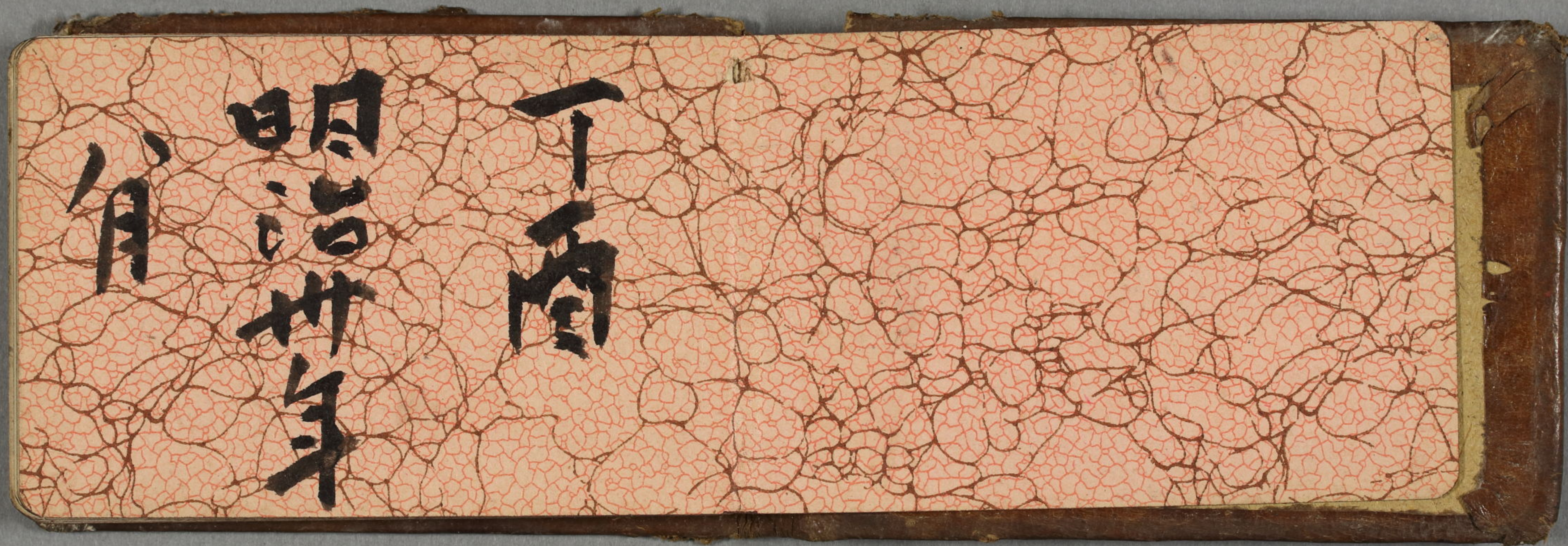
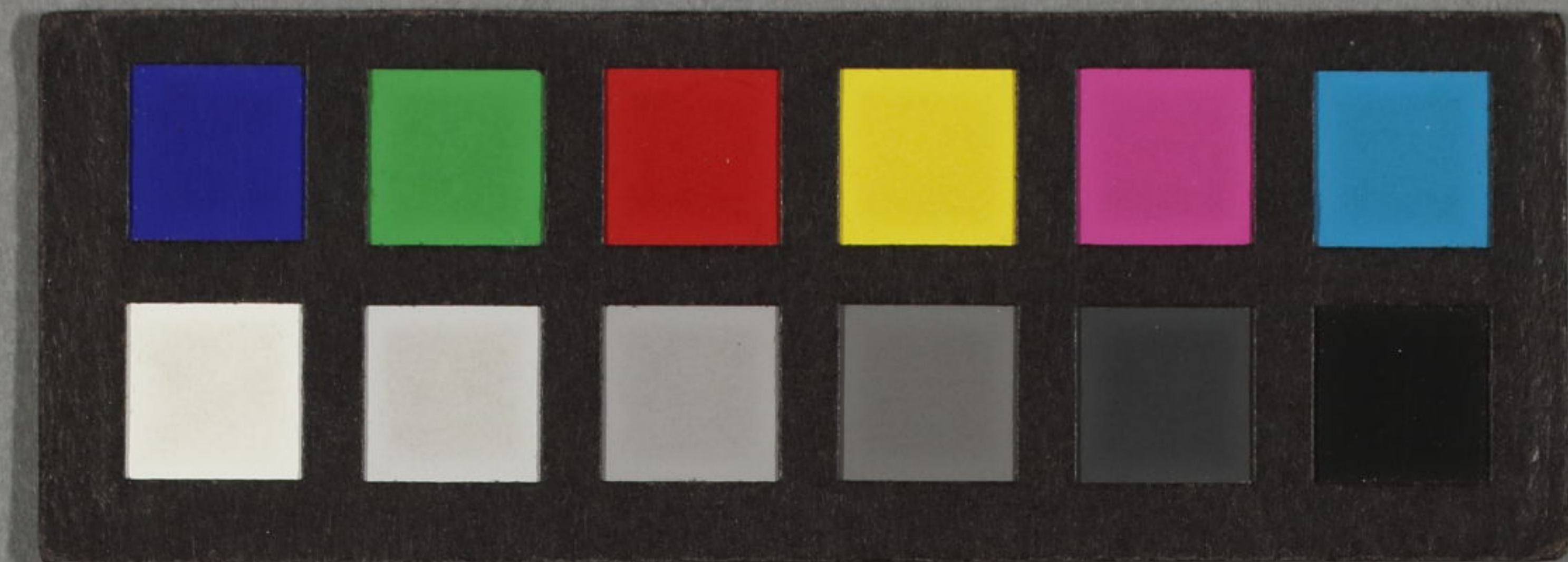
早稲田大学図書館

文書 27

B 72

2





丁酉三月八日

一丹物命庄權心使

收鄂申對來告

父子對信

杉子齋來者長天

喪在立無由

御陽成業

還幸ハナ後

此ハ伊香入此後

長故端書差出
晚方里田伯訪
氣體之文障才起
辰執七壹因の之模
本勸告へ之ツと修
察白人木夕箱林り
不田
勝伯揮高勝

持去思田史人
勝の西原高ん記

二日晴矣十三夜

大工来歴取可也

才習記作

午後後方白ツ傍
長政子何香保栗
山下一徳子ツ規

被大人銀座買物
行

三ヶ所

四時迄支取

大八ヶ所

〇三ヶ所
〇平野
〇三ヶ所
〇三ヶ所

〇一四ヶ所
〇一四ヶ所

大八ヶ所

〇一四
〇一四

大八ヶ所
大八ヶ所

〇一四
〇一四

大八ヶ所
大八ヶ所

〇一四
〇一四

大八ヶ所
大八ヶ所

〇一四
〇一四

大八ヶ所
大八ヶ所

〇一四
〇一四

多崎

三十三山 午食

三十四山 夕飯代

一四七山 馬車

五山 御蔭代

二山 形水

二山 臨川代

一山 入力代

六十四十八代

五十三山 六十四代

山

四山

一二十山 飯代

一十三山 巳子代

一八山 飯代

早起田的再成
昨能二时竟亮
腐子竟走了
成空有书在天雷
中皇矣
深山好相美人
画

刺北川能也
新新与行
本人为何
长政三人得元行
沈书乃是都人
少书与书
午好以故一
周作素话

松本掛御子高様
此の葉目有「精分」
八十牛至之彦
長政色主小の
晩
十
此山子
計
一
一

昨日雨あり
七十五分
氣一
寺方
長政
午
雨

十四日

張五

十三日

張六

家信 瑞

十五日

那草科

二十日

廿年

二十五日

跡美

一

~~天~~

十日

天

十一日

中宗

十六日

七

持

十八日

二十日

晚天長

之

依

後藤伯系二印

昨日午前十時死

被叙正二位

夜一踏。教家

長政有家信

昨日八九千二百十リ

六日目書

午前三時三十分

目覺有微震

四時一過

後藤氏電報

アリヤニ二十九錢

伯基死去哀悼

不堪殘念

山崎のん中坊

善一梅

七、西
谷山
三子所
牛園
巴子

書留
院九年
本相印
十餘年
利和
一能

一 身 豆 肉

一 身 豆 肉

一 身 豆 肉

一 身 豆 肉

一 身 豆 肉

一 身 豆 肉

一 身 豆 肉

一 身 豆 肉

皇 皇 振 連 如 終 頭

傷 已 見 年 之 奈

一 本

天 氣 已 平

山 來 亦 可 得 境

引 身 亦 不 行

引 身 亦 不 行

引 身 亦 不 行

午山名
同山名

白毛
三十八

号

十二

421

000

000

山名
山名
山名

山名

山名

山名

山名

山名

山名

山名

山名

山名

山名

山名

山名

山名

山名

九ノ

一三十三所

糞文巻

白書

一五老

杖

一

松本

午有松本梅管

事松本所

長谷川

晩弟七郎別帳

村松本

十々

七郎七郎

事松本

午有松本

し松本

中松本

一廿四十八我其能

宿排

一四号

一五号

一六号

一七号

一八号

一九号

二〇号

二一號

二二號

二三號

二四號

二五號

二六號

午好片午能二頁島

曉乃尚元月
何より信和社休
自息
海元路の始生
海元路の需為
之取取の均名
口午方の飯方堂
午の知路の塔
又いつのつ
の相のつ
あし村のつ
何れも布のつ
日と此のつ
秋のつ
野のつ

あつたての雨

あつたての雨

あつたての雨

あつたての雨

あつたての雨

あつたての雨

あつたての雨

あつたての雨

あつたての雨

あつたての雨

あつたての雨

あつたての雨

あつたての雨

あつたての雨

あつたての雨

あつたての雨

一 七 田 三 十 八

いんりふ

一 四 十 八 焼 女 柳

一 如 身 甘 子

一 五 十 八 水 巻

一 ~~七~~

十 三

一 十 八 身 巻

一 十 八 身 巻

一 十 四 三 十 八

一 十 八 身 巻

十 三

一 十 八 身 巻

一 十 八 身 巻

拾得新書

午拾書

屋方年

拾得

拾得

拾得

拾得

拾得

拾得

拾得

一二三四

一

二

三

四

五

六

七

拾得

拾得

成日取て父の

永坊分ニテヨリ

八十一才ニシテ

少少山

体弱ニテ作候

永坊山ノ

平塚橋ノ

先將軍ニシテ

二百五ノ

将軍ノ

し右坂ノ

三ノ

けり

し人ナリ

坊分ノ

子ノ

十一

四十九

七十

六

四十

一

五

十

十九

七

十一

四十九

七十

六

四十

一

五

十

十九

七

十七

十八

二十四

二十五

二十六

二十七

二十八

二十九

三十

三十一

三十二

抄
七田五十七

合
田ナリ

七田
中

一
七田
中

一
七田
中

一
七田
中

卷五

一三四

村子

一四十四

平去

一三十四

平去

一三十四

平去

一三十四

平去

一三十四

平去

一三十四

平去

一三十四

一三十四

一三十四

一三十四

一三十四

一三十四

一三十四

符而河七口市
層見物也如
手不先起也
いきし海に大踏
し高し其大
孤多し一は其
い

伊知七石田
乳海山物

○午均好信送
右柳川五下英國女高

上野
夜三春
心

拾壹日五

十九

銀元

二十

備人情物

行

何也

考集

竹在

了物

吊

年

老

二十三日

午お招き

御下

中紅毛

村柳

北岩

○

可三郎

田中

と

五郎

十三

一

一

一

二十四

一 五十八山 草野 堀
堀 堀

一 八十二山 志心 丸山

一 三十三山 海野 左

一 七十五山 高野 左

一 五十四山 三浦 左

午後 雑 定 内 前 山
田 野 山 天 橋 山 田

一 三回 おき 山 山

先回 おき 山 山

二十四

午後 山 下 山 山

天 神 山 山

一田 植木

一 田のきこ 種子

口 古の掛の 坊名 野の

たす 日 是流

二十

再 已 話 存 在 廿二

あ び 名 同 あり

孫 じ への 持 ち び

ひ

平 七

平 七 一 郎 次

平 七 郎 次

二十日

二十九日

二十日

古蹟 今更なる回抄
とあり。林あり
かたしとあり
三つあり
書とあり
大八段の松あり

九月

おまけのうた
金糸のうた
おまけのうた

おまけのうた

おまけのうた

おまけのうた

おまけのうた

おまけのうた

おまけのうた

おまけのうた

おまけのうた

世祖の平和記念
殿又平和梅ノ
石ノ碑ヲ立ル
午酉中ノ夜
一社光竹中刀
研如身ノ草
の海物ノ中
監物ノ指物也

海ノ石ノ酒
此海ノ目ノ
可也。河ノ子
一社光竹中刀
研如身ノ草
の海物ノ中
監物ノ指物也

州刻、安部、
下将、為、年、元
隨、分、知、信、子
出、粒、し、し

三、子、甲、子
此、能、大、雨、出、世、大、思、大、思

午、好、晴、お、り、也

あ、り、何、后、候、也

北、岸、西、渡、東、上、新、経、路、
大、ハ、物、廻、り、運、り、持、渡、り、
し、

大、新、の、地、代、増、額、限、り、
す、

七、
長、崎、の、新、道、也

一、
経、路、の、新、道、推、入、の、
為、に、
大、新、の、地、代、増、額、
を、
思、ひ、上、珍、し、と、考、へ、

一 寺田

上
不
有
者

一

中
松
三
斤

一 寺田

松
四
分
八
板

一 寺田

松
三
本

一 寺田

寺田日記

寺田日記

の 鑄

の 鑄

の 鑄

の 鑄

の 鑄

櫻二本大ニバ

一七七七

長政入馬四ノ

一七七七

十之七

梅ありて

大梅ありて

大梅ありて

去ノ

梅ありて

三本ノ後

一七七七

二十三日
月野山

源山

山

福

村

山

山

山

山

山

山

山

山

山

十十の並んで
南境の梅本
見ゆ

大八植用行き
金4借りある用
○とある所を
市美の中
は角三宅故
家(別)に

○とある所を
梅本并に
○とある所を
○とある所を
○とある所を
○とある所を

互し身名先
物さう正年
雨結 誠 静 豊
可三石ん手
出さう又吉
内 地 分 豊
印 地 分 豊

區 符 知 華
名 分 結 水 地 後
里 心 田 後 川 自 田
出 古 石 結 分 吉
用 子 道 分 結 分 吉
物 さ う 日 結 分 吉
指 第 一 分 結 分 吉
内 前 分 結 分 吉
結 分 吉

二十三日

海舟

山あ、ヒハ、草、地

リ、物、取、り

自分、ハ、初、業、者

手、持、深、田、倉

日、自、田、中、リ

今、日、の、人、子

身

叔子書のねに在るに云

キカニム

川上中將の書に

ウラ4又片西印在

露の公使来日相見

伊勢十
山物種地云

船群
備以自力

十のり日信

海心外三人

一 十 亥 公 事

一 九 十 四 時 晚 鐘

一 三 所 以 為 記

一 二 所 相 望

一 厚 中 有 兩 大 成

一 因 即 也

一 封 錫 中 有 真 元 均

二十七日 雨

不 天 氣

昨 日 總 惡 乎

跨 神 氣 多 妙 也

午 前 亦 欲 為 事

昨 日 總 惡 乎 林

其 中 亦 有 妙 處

矣 自 覺 出 來

恍 然 有 悟

執事あ大々特也

昨程大雨然る也

其れ盛半流也

疏鑿す

七角戸口一汚泥り

洗ひ下す

庭あり
腰板

大之崎も
北の方の三尺
内之岡の上り

し
三人

有今

三人

天の御心
天の御心
天の御心

起頭三條岩倉

嶽齋抄の御

三條岩倉の御

古精進の御

又の御抄の御

書の御抄の御

東の御抄の御

午の御抄の御

書の御抄の御

了の御抄の御

抄の御抄の御

物抄の御抄の御

及の御抄の御

火の御抄の御

抄の御抄の御

柳便殿造り外文

今所内之結搦築

作云々

午後者北大山之

山頂之新井

石田舎

高島原住所

石風部

青山道

栗松幸十郎

二十四日雨

曉方山一園

重徳新先用幼

山下丹八不集

二十九日晴

大工三人

土方二人

北境、松尾、^{キミゴ子}此の

を、^シ家の、松尾、^シ新

大七ハの、松尾、^シ洗

山ト母、松尾、^シ松尾

古、松尾、^シ松尾

松尾、^シ松尾

子、松尾、^シ松尾

天神

十、松尾、^シ松尾

信州、^シ松尾

二十九日雨

福、^シ松尾

九、^シ松尾

雨、^シ松尾

松尾、^シ松尾

午後四時迄大田町
と訪ふ(ちたま)
二回持来大八百
四十回八八番
田子(田子)おむ
五九(四子)下
十回おむた
下(下)歩し
皆(皆)歩し

移(移)初(初)集(集)不(不)心(心)
可(可)三(三)平(平)下(下)利(利)く(く)之(之)
一(一)七(七)七(七)而(而)乃(乃)古(古)枝(枝)子(子)受(受)
長(長)江(江)港(港)地(地)面(面)の(の)實(實)の(の)
三(三)十(十)リ(リ)
大(大)工(工)又(又)三(三)枝(枝)
大(大)田(田)子(子)の(の)上(上)移(移)り(り)
上(上)移(移)り(り)の(の)上(上)

十月一日
宿屋下へ来た

支那公使の書

勝を待つべし

○公使の書
○殿舎の書

○左山下の地

京の竹

お前の物
母の物

本日

○親小女

○書

○南境

地代
地

地代
地

未年一月十八

何物

六月廿八日

其已...

存...

附...

一... 切...

一... 梅林

一... 友...

一... 姓...

一... 月...

一... 竹

一... 桂...

十月

一晴

系折竹卷列

二晴

可平品物心初
勝林掃ヲヤル

三日晴

終日在毛湯川遊

四日

秋来晴毛湯曝入初
田

五日雨

六日

日午以雨及初
費火餅

七日

八日
九月初雨

九日

十日晴
晴自晴遊月里

十一日

十二日雨
二十日晴初去及

十三日

十四日晴
二十三日晴
教
二十日雨

十五日

十六日晴
初去及

十七日晴
場
日

八日 泰風 夏雨

九日 晴 大工三人

十日 晴 中秋月朗

十一日 晴 日 植木三人

十二日 晴 雨 三人

十三日 雨

十四日 雨

十五日 雨

十六日 晴

十七日 晴

十八日 晴

十九日 晴

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十

三人

三人

辛 晴 三人

壬 雨 經本三人

二十三日 晴

二十四日 雨

二十五日 晴

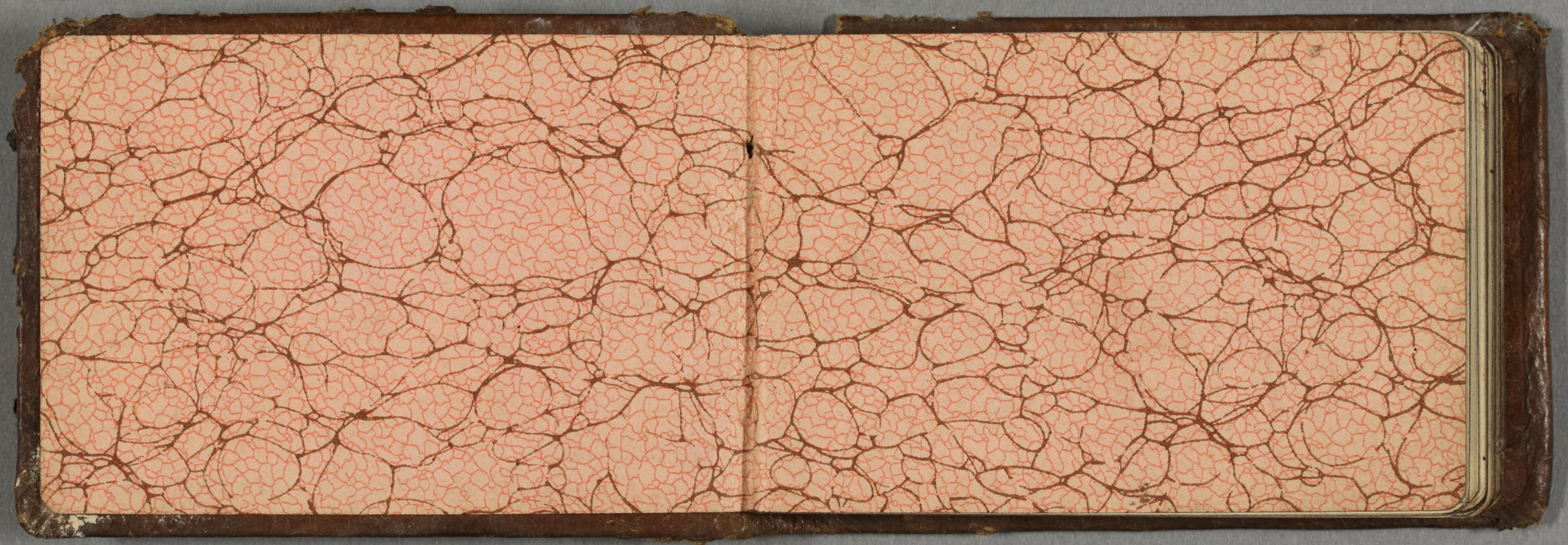
二十六日 晴 初春之日 大工三人

二十七日 雨

二十八日 小雨 晴 三人

二十九日 雨 抄大 雨 三人

三十日 晴 抄大 雨 三人



Note